

授業概要

本講では簿記の基本を講義します。簿記とは「帳簿記入」のことです。会社や商店は経済活動を帳簿に記録し報告書を作成します。簿記の目的は、会社の財政状態と経営成績を明らかにすることです。授業では、まず取引の記録方法である、次に総勘定元帳への転記を学んでもらい、個別論点では、現金預金、商品売買、掛取引、その他債権債務などの会計処理を学びます。後半は手形取引や有形固定資産、貸倒引当金などの会計処理を学び、最後に損益計算書と貸借対照表の勘定科目とその構成を俯瞰します。

授業計画

第 1 回	簿記学習のコツ：目次を見て簿記の体系を覚える。
第 2 回	簿記の意義と仕組み：貸借対照表・損益計算書の構造を知る。
第 3 回	仕訳と転記：勘定科目、取引の意味、仕訳と転記
第 4 回	決算とは何か：試算表の作成、帳簿の締め切り、財務諸表の作成など
第 5 回	現金と預金：現金勘定、現金過不足、当座預金と当座借越、小口現金の扱い
第 6 回	商品売買：繰越商品、仕入、売上の 3 分法、諸掛りと返品 of 会計処理
第 7 回	掛け取引：売掛金と買掛金、クレジット売掛金勘定
第 8 回	その他の債権債務：貸付金と借入金、未収入金と未払金、立替金と預り金など
第 9 回	第 1 回～第 8 回の復習 / 中間試験
第 10 回	手形の振出受入：受取手形と支払手形、手形貸付金と手形借入金、電子記録債権・債務
第 11 回	有形固定資産：減価償却の意味、取得原価と売却の会計処理
第 12 回	貸倒引当金の意味：貸倒損失、貸倒引当金の繰り入れ
第 13 回	収益と費用：前受収益、前払費用、未払費用、未収収益
第 14 回	税金：租税公課、法人税、住民税、事業税、消費税の会計処理
第 15 回	財務諸表：決算と決算手続き、試算表、精算表、財務諸表の作成
第 16 回	定期試験

到達目標

教科書の例題が解答できる。特に仕訳と転記は正確・迅速に解答することができる。

履修上の注意

1. 授業中の私語厳禁。
2. 「電卓（12 桁）」を持参すること。スマートフォンでの計算使用は不可。

予習・復習

1. 教科書の目次を見ながら各項目やキーワードを自分で説明できるようにすること。
2. 授業で学んだ論点は必ず、問題集で復習すること。
3. 簿記の習得は、短期間で可能です、集中して問題集を解いてください。

評価方法

中間試験 40%、定期試験 60% 遅刻を含め、授業態度不良者は「不可」評価とする。

テキスト

- ・教科書名：現代の簿記論
- ・著 者 名：篠原淳、古市承治、梅田勝利
- ・出版社名：税務経理協会
- ・出 版 年（ISBN）：978-4-419-06693-2
- ・教科書名：基本商業簿記演習 改訂版: 3 ステップ方式
- ・著 者 名：井出 健二郎
- ・出版社名：創成社
- ・出 版 年（ISBN）：978-4794412140